



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社トラスト 上場取引所 東
 コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴 TEL 052-219-9058
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,852	15.1	271	31.0	240	19.2	70	△5.4
30年3月期第1四半期	4,217	△5.8	207	△30.2	201	△26.7	74	△20.6

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 114百万円 (△17.3%) 30年3月期第1四半期 138百万円 (△15.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	2.71	—
30年3月期第1四半期	2.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	29,941	8,934	21.4	247.92
30年3月期	29,756	8,859	21.6	248.01

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 6,415百万円 30年3月期 6,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		2.50	—	1.50	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,650	8.2	580	2.9	540	1.0	220	16.7	8.50
通期	20,000	8.7	1,400	6.2	1,300	3.4	500	13.1	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	28,150,000 株	30年3月期	28,150,000 株
② 期末自己株式数	2,273,100 株	30年3月期	2,273,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25,876,900 株	30年3月期1Q	25,876,900 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策動向、近隣諸国における地政学リスクはあるものの、個人消費や設備投資の持ち直しの動きが継続し、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で利便性により持続的に伸長し続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,852万円(前年同期比15.1%増)、営業利益271百万円(前年同期比31.0%増)、経常利益240百万円(前年同期比19.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、資源価格下落等による不況の影響で輸出先の景気と需要が低迷し、また外貨準備高不足により海外送金が困難な状況が続いておりましたが、回復の兆しが見られ、当第1四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は36.69万台(前年同期比0.7%増)となりました。

このような状況のなか、アジア地域においてはB2B取引先との関係強化により輸出台数は増加したものの、メイン販売先であるアフリカ地域を含むその他の地域への輸出台数が依然低迷しており、当社グループの輸出台数は1,203台(前年同期比1.3%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,555百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益32百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店の伊勢店(三重県)、FC店の大村店(長崎県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は138店、総保有台数は16,017台(前年同期比4.4%増)となりました。さらに、レンタル終了車輛の販売台数は389台(前年同期比26.7%減)となり、新規出店等によるコストの増加もありましたが、売上の増加や台当たり粗利益の改善等により、営業利益は前年同期を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,431百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益256百万円(前年同期比45.3%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、大統領は交代したものの、経済状況は依然として厳しくそれに伴い平成30年1-6月期の新車販売台数は26.7万台(前年同期比0.8%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でブジョー・シトロエンディーラー4店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の計8店舗をを運営しており、新車販売台数は合計210台(前年同期比5.0%増)、中古車販売台数は合計319台(前年同期比28.1%増)となり、前年同期と比べて販売台数は増加しましたが、前年度における新規出店によるコスト増加もあり営業利益は一時的に低下しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高924百万円(前年同期比26.9%増)、営業損失16百万円(前年同期営業損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.7%増加し、17,007百万円となりました。これは現金及び預金が162百万円、受取手形及び売掛金が32百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、12,934百万円となりました。これはリース資産(純額)が578百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、29,941百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、17,338百万円となりました。これは短期借入金が300百万円、リース債務が407百万円の増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.4%減少し、3,668百万円となりました。これはリース債務が438百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、8,934百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、さらに既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、新規出店及び既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、平成30年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	978,835	1,141,010
受取手形及び売掛金	1,574,542	1,607,445
リース債権及びリース投資資産	10,978,834	11,577,439
商品及び製品	1,963,686	2,046,381
仕掛品	3,673	4,404
原材料及び貯蔵品	24,346	25,076
その他	570,996	611,620
貸倒引当金	△6,151	△5,778
流動資産合計	16,088,763	17,007,602
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	6,084,858	5,506,256
土地	3,472,636	3,467,868
その他(純額)	3,208,327	3,060,046
有形固定資産合計	12,765,823	12,034,171
無形固定資産		
のれん	85,913	81,844
その他	59,889	60,614
無形固定資産合計	145,802	142,459
投資その他の資産		
その他	786,498	787,982
貸倒引当金	△30,350	△30,535
投資その他の資産合計	756,148	757,447
固定資産合計	13,667,774	12,934,078
資産合計	29,756,538	29,941,680
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,588	691,413
短期借入金	670,000	970,000
1年内返済予定の長期借入金	142,824	142,824
リース債務	13,906,536	14,314,059
未払法人税等	206,499	100,958
賞与引当金	86,412	46,924
その他	984,125	1,072,726
流動負債合計	16,757,987	17,338,906
固定負債		
長期借入金	395,909	360,203
リース債務	3,629,512	3,190,899
役員退職慰労引当金	7,334	7,635
資産除去債務	38,351	38,422
その他	68,443	71,011
固定負債合計	4,139,550	3,668,171
負債合計	20,897,537	21,007,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,521,135	4,552,333
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,426,726	6,457,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,253	15,214
為替換算調整勘定	△24,226	△57,795
その他の包括利益累計額合計	△8,972	△42,580
非支配株主持分	2,441,246	2,519,257
純資産合計	8,859,000	8,934,601
負債純資産合計	29,756,538	29,941,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,217,264	4,852,316
売上原価	3,158,598	3,654,541
売上総利益	1,058,666	1,197,774
販売費及び一般管理費	851,299	926,129
営業利益	207,366	271,644
営業外収益		
受取利息	3,237	2,588
受取配当金	2,905	1,022
為替差益	1,096	—
受取補償金	9,596	3,710
その他	3,003	3,004
営業外収益合計	19,840	10,325
営業外費用		
支払利息	25,399	26,031
為替差損	—	15,391
その他	160	233
営業外費用合計	25,559	41,657
経常利益	201,647	240,312
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	201,647	240,312
法人税、住民税及び事業税	55,250	97,620
法人税等調整額	17,712	△5,345
法人税等合計	72,963	92,274
四半期純利益	128,683	148,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	54,664	78,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,018	70,013

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	128,683	148,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,071	△52
為替換算調整勘定	11,797	△33,569
その他の包括利益合計	9,726	△33,621
四半期包括利益	138,409	114,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,592	36,405
非支配株主に係る四半期包括利益	54,817	78,010

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,379,149	2,109,684	728,430	4,217,264	—	4,217,264
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,909	69,483	—	73,392	△73,392	—
計	1,383,058	2,179,168	728,430	4,290,657	△73,392	4,217,264
セグメント利益又は損失(△)	35,183	176,530	△3,422	208,291	△925	207,366

(注) 1 セグメント利益の調整額△925千円には、のれん償却額△1,672千円、棚卸資産の調整額37千円、セグメント間取引消去600千円、その他109千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,546,588	2,381,536	924,190	4,852,316	—	4,852,316
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,635	50,388	—	59,023	△59,023	—
計	1,555,224	2,431,925	924,190	4,911,340	△59,023	4,852,316
セグメント利益又は損失(△)	32,771	256,573	△16,599	272,746	△1,101	271,644

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,101千円には、のれん償却額△1,680千円、棚卸資産の調整額531千円、その他48千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。